

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価委員評価

学校名	坂戸市立大家小学校
実施日	令和2年2月5日

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	○小規模校の良さを生かし、個々の児童を丁寧に指導している。 ○管理職への連絡が不十分なところがあった。(下校の件)命に関わることや、不登校児童の対応、車との接触等共通理解を図った方がよい。	A	○学校課題の解決を目指した学校研究に取り組み、成果をあげている。 ○自然豊かな環境を生かし、農作物の育成、収穫など特色のある学校づくりに取り組んでいると思う。 ○学校だよりを通じ、地域住民に対し、経営ビジョンを説明している。 ○学校側の方針を全家庭が理解しているか懸念がある。更に向上させるには、保護者会を全職員同席で実施し、学年担任皆共通意識を向上するとよいと思う。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	○マメールを活用し、迅速に情報提供を行っている。 ○不審者対応訓練などを行っている。学校でのトラブルを全体で素早く把握できるとさらによい。 ○今年度は、台風時の避難所開設、大雨時の児童の下校等管理職を中心に職員が共通理解をして対応することができた。	A	○登下校の安全等に地域の人の応援を組織的によくとっている。 ○市民体育祭時に引き渡し訓練を実施させるなど、災害を想定した対応を積極的に行っている。 ○十分対応はとられていると思うが、事故は相手のみならず、我が身の体調にもよる。保護者と教員の意識を向上させる工夫を。 ○マメールを活用し、保護者・学校関係者に情報提供している。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(市共通項目)	B	○ノー残業デーを明確に設定、月予定にも明記し実行を促す。 ○もちつき大会等、行事自体は残し、内容の見直しを図られてよかった。 ○年度当初の計画にない行事が、年度途中に入った。地域柄やむを得ないこともあるが、児童や教職員の負担にならないように実施していきたい。	B	○ノー残業デーが設定され、有効に機能していくように願っている。色々と計画は大変だと思うが、先生方の時間が取れることは、次の授業にもメリハリができるのではないと思う。 ○何事においても計画通りを目標とするが、進まないことが多い。教職員の健康もあるので、「報・連・相」を活用し、更なる向上を見通しながら、進められればと思う。 ○夜間残業をしている職員が見受けられるが、ノー残業デーが設定され、概ね有効に機能している。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	B	○学び合いを意識した授業をどの先生も心がけている。 ○授業研究をすべての教員が積極的に行っていると思う。もう少し計画的に研修を実施できるとよい。 ○英語の研究を通して一人一人の教員が一生懸命取り組んでいる。 ○県学調の分析を密に行い、補修等の時間に、低位の児童の基礎・基本の徹底を図る。 ○高学年にも個別支援が必要な児童がいるので、学習支援員等入ってもらえると助かる。	A	○授業研究を積み重ねて、外部指導者からの指導も受ける学校の姿勢が見受けられる。 ○授業参観をさせていただいた時に、校内の階段に長さの単位など所々に工夫されていて、子供達は目でいつまでもおぼえていると思う。 ○授業に対する教員の熱意が伺える。 ○複数の教員による授業や、対話的な授業を行い、深い学びを実践している。 ○授業参観で見ると、わかりやすく工夫した授業を行っている。 ○昨年度から英語教育に力を入れていただき、成果に表れていると思う。
	5	教員は、豊かな心をはぐむ授業の実践を図っている。	B	○道徳ノートを共通で使えてよかった。年に1,2回でも研修ができるとさらに良いです。 ○補習の時間を各家庭で理解してもらい、連携して行えるのでよかった。 ○校内研修を行い、授業の改善を図っている。	A	○集中して授業に取り組んでいる様子が見え始める。 ○授業に対する教員の熱意が伺える。 ○大家地区の特色を生かし、自然に親しむ授業や行事を行い豊かな心をはぐむ努力を行っている。 ○放課後に補習を行い、個別の指導により学力向上を図っている。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	○素直な児童が多く、授業にも真剣に取り組んでいる。自分の考えをしっかりと発表できると、さらに良いと思う。 ○自分の考えを発表する機会をより増やすため、学び合いの授業を実践する。 ○校内・校外共にあいさつが少なくなってきたと感じる。対策を考えていきたい。	B	○「学校教育調査」集計で、家でも学校でもあいさつがあまりよくないようなので、元気にできるようにするとよい。 ○登下校では、地域住民に進んであいさつをしている。 ○学校の授業の様子を見ると、落ち着いた様子が見える。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために、意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	○何でもすぐ相談できる職員室の雰囲気は大切にしたい。 ○相談しやすく、保護者等への対応も管理職をはじめ複数で行って下さりありがたい。 ○体罰もなく、交通事故がないように心掛けている。 ○不祥事関連の研修を行ったり、新聞記事等閲覧して下さることにより、意識を高めることができる。	A	○風通しの良い職場の雰囲気があるということは、先生方の人間関係がよいことがうかがえる。 ○小規模校の特性を生かし、風通しの良い職場の雰囲気である。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。(市共通項目)	B	○どのクラスも比較的落ち着いたのは一人一人に寄り添った指導を行っているからだと思う。	A	○個に応じた支援に努めていることが感じられる。 ○先生方の人間関係がよいことで、児童も温かい雰囲気の中で、仲よく、楽しく過ごせることにつながっていると感じた。 ○各教職員が、担任以外の児童の氏名を把握しており、温かい雰囲気である。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	○特別支援教育の研修があれば実施したい。 ○発達に課題のある児童についての特性の理解と対応、合理的配慮等について職員研修を行った方がよい。	B	
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	○安全点検後、すぐに修理してもらえらるのでありがたい。 ○危険な場所をそれぞれ把握している。 ○校舎は古いのが、清掃活動等日々熱心に取り組んでいる。	A	○校地周辺がよく整備されていて、よく管理されている。 ○学校の敷地内は、定期的な安全点検や清掃活動を通じ、教育環境の整備に努めている。
家庭・地域との連携	11	学校は、開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	B	○ホームページの更新は、年に何回もできないが、児童の個人情報に配慮しながら行っている。	B	○自治会を通じて、「学校だより」を回覧していることで、分かりやすく伝えている。 ○「学校だより」を見て、学校の様子を伺っていたので、「学校だより」は、出して頂けると嬉しい。 ○「学校だより」を通じ、情報発信に努めている。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭地域と連携し、子どもの問題解決を図っている。	B	○不登校の児童の対応については、今後も組織的に役割を分担して対応していく必要がある。関係機関に依頼したり、次年度のことでも考え中学校とも連携をとったり、どうすることがベストでどこを目標にするかを考えて対応していくことが大事である。 ○課題のある児童において、保護者との面談を早急にしていただきありがたかった。組織的な取組で早期解決へ進めたい。	A	○学校の農園や防犯等の応援体制を活用して効果をあげている。 ○今年度から体育祭に「何で2回も運動会をするの?」という保護者の声を耳にしたが、子供会が減ってしまっていたので、全児童参加によって、地域と密着し、賑わう景色が見られて大変嬉しく感じた。 ○不登校・いじめ等は、学校側の問題より、家庭内、本人同士の問題も多いと思う。原点を検討することが必要だと思う。 ○地域の人材を授業に活用するとともに、音楽会やもちつき大会を通じ、家庭・地域と積極的に連携し、活動している。
小中一貫教育	13	学校は小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	○小中連携がまだまだ不十分だと思う。数少ない連絡会議の中でも5月に行われる中学校での会議がもっと充実したものにした方がよい。 ○小中連携だけでなく、小小連携も必要だと思う。 ○児童数の多い少ないにかかわらず、課題のある児童については、情報を共有しておきたい。	B	○小中学校が離れているという物理的な原因もあるが、もう少し小中が密に話し合い、交流を深められたい。 ○大家小の児童は少ないので、中学校の先生は、大家小のことをあまり知らない気がする。(人数が少ないので仕方ないかもしれないが…)